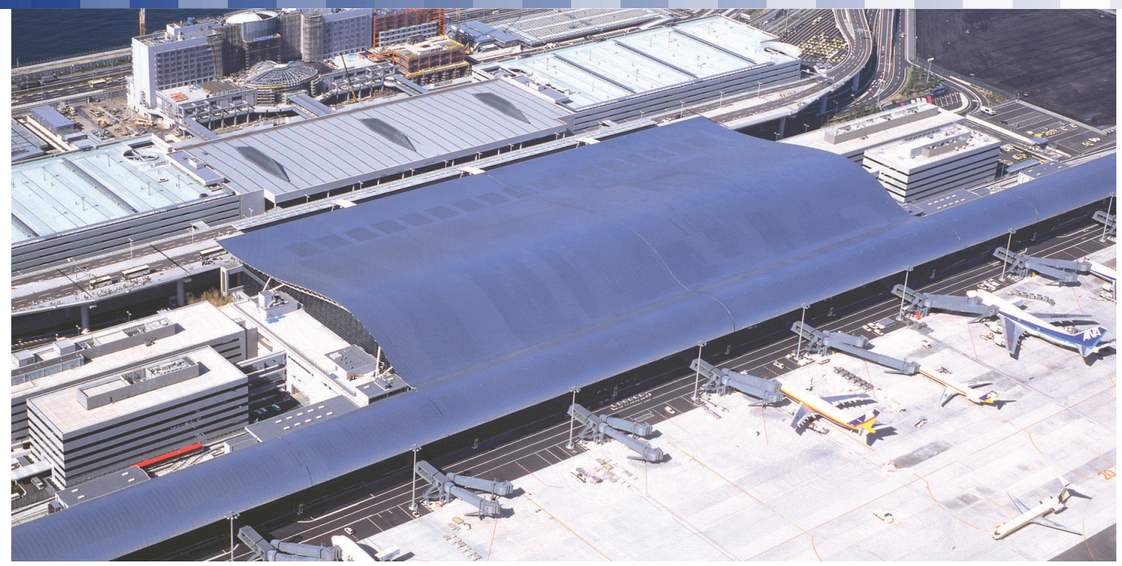
長尺屋根

三晃金属工業の歩みは長尺屋根の歴史です。

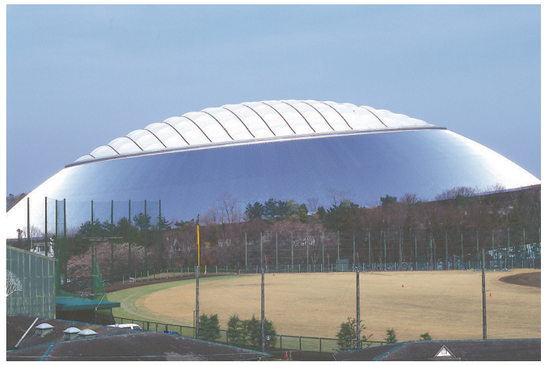
三晃金属工業といえば「長尺屋根」。創立以来50年、長尺屋根は一貫して三晃金属工業の顔です。
その輝かしい実績に裏打ちされた技術は、現在までに外壁と合わせて約40種類の工法を有するまでに成長しました。
長さ540m幅120mの幕張メッセの屋根は、日本初の高耐食性フェライト系ステンレス鋼を使用した最先端のダブルパック工法を採用。
未来的デザインが脚光を浴びた関西国際空港では、建物の意匠ニーズと海上空港という過酷な環境での機能的ニーズを両立させるため、ダブルパック工法の上にステンレスパネルを施す画期的な工法が採用されました。
三晃金属工業は、将来も時代の大空間を創造する長尺屋根のトップメーカーとしてさらに斬新な視点とたゆみない努力で、スカイラインの可能性を広げます。

三晃金属工業の長尺屋根は体育館、校舎、駅舎、美術館、博物館などの公共施設から、工場、倉庫、リゾートホテルなどの民間施設まで多種多様なニーズにお応えしています。

鉄道博物館 | 埼玉県



関西国際空港ターミナルビル | 大阪府



西武ドーム | 埼玉県

埼玉スタジアム 2002 | 埼玉県

広島市環境局中工場 | 広島県

函館競馬場 | 北海道